

# 平成20年度 事業経過報告書

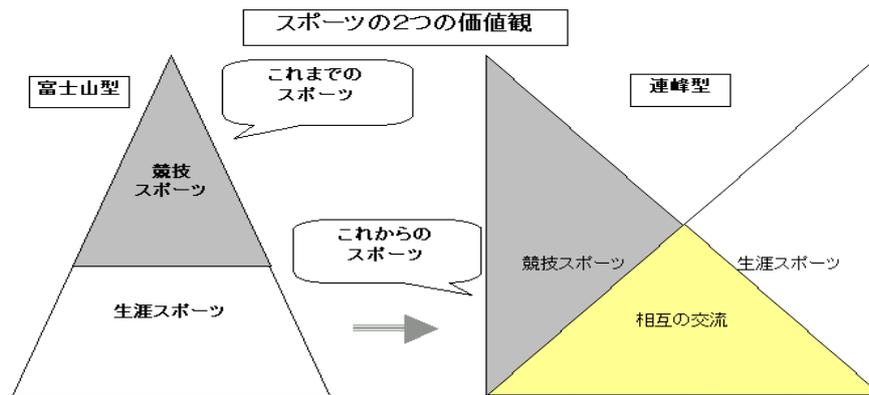
自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

東京都中央区築地2丁目11番24号  
(財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

## 平成20年度事業経過報告

平成20年度事業計画は『競技スポーツ』『生涯スポーツ』両方の満足度を向上し、会員を増やすこと、年少者の普及と育成を目標とした。また、国際関係においてはアジア地域の活性化に協力し、日本のモーターサイクルスポーツの発展に繋がる方向の施策検討を重点項目とした。



### 具体的施策としては

- ① 年少者対策として3期目を迎える『MFJ ロードレースアカデミー』をツインリンクもてぎ、2期目を迎える『MFJ トライアルアカデミー』、を茨城県真壁トライアル場で開催した。
- ② アジア国別対抗ロードレースをスポーツランド SUGO で開催し、また同選手権に日本代表選手を派遣した。
- ③ 女性対策として『MFJ レディスロードレース』を筑波ともてぎで3回開催した。
- ④ 『スーパーモタード』『エンデュуро』の普及振興を行い、競技会の中で競技スポーツとして取り組む層と生涯スポーツとして取り組む層の両方の推進を図った。
- ⑤ 社会的認知向上の為、CS放送/地上波放映の促進、WEBサイトの充実を図った。

競技ライセンス発行数は、96%と減少、エンジョイ会員も96%と減少し、トータルの会員数は95%と減少した。全体的な高齢化傾向や地方選手権参加者の減少傾向は変わらず、次代を担う年少者への普及活動と現会員の満足度向上、社会的認知の向上などに加えて、競技役員やピットクルーなど競技会を支える人材への対策の検討が今後の課題である。

# I. ライセンス会員の登録状況

## 1. ライセンス会員数

- 1) 競技会員のライセンス取得者数は **19,833** 名 (昨年 **20,965** 名) で前年対比 **95%**、  
ライセンス発行枚数も **29,197** 枚 (昨年 **30,545** 枚) で **96%** と減少。
- 2) エンジョイ会員は **6,181** 名 (平成 19 年 10 月～平成 20 年 9 月) 昨年度は **6,435**  
名 (平成 18 年 10 月～平成 18 年 9 月) で **96%** と初めて減少した。
- 3) 競技会員とエンジョイ会員の合計発行枚数では **35,378** 名 (昨年 **37,181** 名)

## 2. 各種目の会員数

- ① ロードレース **8,049** 名 (昨年 **8,640** 名) 前年対比 **93%**

地方選手権衰退・高齢化等で国内／フレッシュマンが大幅に減少した。

種目	区分	07年度	08年度	対比
ロードレース	国際	922	889	96%
	国内	4979	4537	91%
	フレッシュマン	2698	2564	95%
	ジュニア	41	59	143%
	計	8640	8049	93%

- ② モトクロス **2,597** 名 (昨年 **2,743** 名) 前年対比 **95%**

減少傾向に歯止めがかからず。高齢化、都市近郊の会場の減少等要因

種目	区分	07年度	08年度	対比
モトクロス	国際 A 級	178	174	98%
	国際 B 級	568	528	93%
	国内 A 級	370	305	83%
	国内 B 級	915	833	91%
	ジュニア	577	624	108%
	PC	135	133	99%
	計	2743	2597	95%

- ③ トライアル **1,656** 名 (昨年 **1,736** 名) 前年対比 **95%**

高齢化は顕著。ジュニアが増加

種目	区分	07年度	08年度	対比
トライアル	国際 A 級	124	132	105%
	国際 B 級	396	395	100%
	国内 A 級	444	411	93%
	国内 B 級	751	700	93%
	ジュニア	21	18	86%
	計	1736	1656	96%

④ スノーモビル 251名（前年 252名）前年対比 100%

北海道地区で若干増加した。

種目	区分	07年度	08年度	対比
スノーモビル	A級	104	98	94%
	B級	127	127	100%
	ジュニア	21	26	123%
	計	252	251	100%

⑤ ドラッグレース 74名（前年 83名）前年対比 89%

種目	区分	07年度	08年度	対比
ドラッグレース	A級	41	38	93%
	B級	42	36	86%
	計	83	74	89%

⑥ ダートトラック 36名（前年 34名）前年対比 106%

種目	07年度	08年度	対比
ダートトラック	34	36	106%

⑦ スーパーモタード 523名（前年 537名）前年対比 97%

コスト上昇、技量格差拡大等でやや頭打ち傾向。

種目	区分	07年度	08年度	対比
スーパーモタード	A級	224	226	101%
	B級	313	297	95%
	計	537	523	97%

⑧ エンデューロ 110名（前年 100名）前年対比 110%

大会数が限られている為、伸び悩んでいる。

種目	07年度	08年度	対比
エンデューロ	100	110	110%

⑨ ピットクルー 10,077名（前年 10,662名）前年対比 95%

種目	07年度	08年度	対比
ピットクルー	10662	10077	95%

⑩ 競技役員 5,824名（前年 5,758名）前年対比 101%

種目	07年度	08年度	対比
役員・講師	5758	5824	101%

## II. モーターサイクルスポーツ事業

### 1) MFJ 主催および共催競技会・行事の開催状況

平成 20 年度中に MFJ 主催並びに共催競技会を 4 大会開催。また、日本二輪車協会（NMC A）と共催にて「少年少女モーターサイクルスポーツスクール」を文部科学省・内閣府後援で 30 回開催。730 組 1460 名。（07 年：29 回/734 組/1,468 名）

## 2) MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

- 平成 20 年 1 月～10 月まで全国で 626 大会が開催された。
- 公認競技会・承認競技会ともに前年対比 91%と減少傾向。

支部	公認競技会										承認競技会										合計	中止	開催数	
	R D	M X	T R	S N	S M	D R	E D	講習 会	走行 会	小計	R D	M B	MX	T R	S N	S M	D T	E D	S T	行事				小計
北海道	4	13	8	3			1	11		40	1	1		1	1			3			7	47	0	47
東北	6	10	16	1	6		1	21		62	2	7	10	10		1		4			34	96	5	91
関東	16	21	24	2	5	3		28	27	126	6	11		5		1	3	6		1	33	159	2	157
中部	8	10	14		4			8	15	59	8	8	2	8				4			30	89	2	87
近畿		12	12		6			15		45	1	1	6	10				5			23	68	2	66
中国	8	11	19		7			24	3	72	4	16	3	1				5			29	101	4	97
四国		8	8					4	1	21		2	1								3	24	2	22
九州	6	9	9		11		1	18		54	3		1					1			5	59	0	59
合計	48	94	110	6	39	3	3	129	47	479	25	40	26	35	1	2	3	28	0	1	164	643	17	626
前年	49	104	115	6	46	3	1	150	55	529	32	40	26	34	4	3	3	37	0	2	181	710	34	676

※前年は 11 月末までのデータ

## 3) 競技会開催状況

### (1) ロードレース

#### ① 世界選手権/特別競技会

格式	開催日	大会名	観客数	
			07 年	08 年
世界選手権	7 月 24 日～27 日	ココロラ・ゼロ 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース	147,500	133,500
	9 月 26 日～28 日	Moto-GP A-STYLE 日本グランプリ	90,310	87,315
国際競技会	6 月 7 日～8 日	Road to 8hours 鈴鹿 300km	12,500	25,500
特別競技会	8 月 18 日～19 日	もてぎオープン 7 時間耐久ロードレース	8600	5,700

#### ② 全日本選手権

天候に恵まれず観客数は減少。参加数も減少傾向

	開催日	会場	観客数	JSB	ST600	GP250	GP125	GP-M	計
第 1 戦	4 月 6 日	もてぎ	13,100	43	44	24	44	34	189
第 2 戦	5 月 11 日	筑波	15,800	41	45	24	44	34	188
第 3 戦	5 月 25 日	オートホリス	34,610	35	41	21	37	43	177
第 4 戦	8 月 24 日	SUGO	12,500	36	44	29	45	39	193
第 5 戦	9 月 7 日	鈴鹿	28,000	53	53	22	46	45	219
第 6 戦	10 月 5 日	岡山 MFJ-GP	17,900	28	27	23	27	32	137
		合計	121,910	236	254	143	243	227	1103
		1 大会平均	20,318	39	42	24	41	38	184
		前年対比	93%	98%	89%	89%	91%	95%	92%

③ チャレンジカップ選手権

◎東日本チャレンジ(SUGO・筑波・もてぎ・FISCO)

大会数	総参加台数	GP125	GP250	JSB1000	ST600
9	462	111	63	110	178
1大会平均	51	12	9	12	20
前年対比	106%	86%	82%	80%	167%

◎ウエストチャレンジ(鈴鹿・岡山)

大会数	総参加台数	GP125	GP250	JSB1000	ST600
7	364	124	25	102	113
1大会平均	52	21	6	26	28
前年対比	85%	100%	60%	130%	93%

◎サウスチャレンジ(オートホリス・HSR九州)

大会数	総参加台数	GP125	GP250	JSB1000	ST600
5	177	22	11	86	58
1大会平均	35	4	4	17	12
前年対比	106%	57%	100%	100%	150%

④ 地方選手権・承認競技会

◎ロードレース地方選手権・承認競技会

施設	公認競技会		承認競技会	
	大会数	参加台数	大会数	参加台数
十勝	4	62	4	85
SUGO	5	264	5	237
筑波	4	487	5	578
もてぎ	3	307	3	376
FISCO	3	217	3	102
鈴鹿	5	548	4	472
岡山	5	340	5	593
九州	4	390	0	
合計	33	2615	29	2443
1大会平均		79	1大会平均	84

◎承認ミニバイクレース

支部	承認ミニバイク	
	大会数	参加人数
北海道	2	76
東北	7	687
関東	13	3156
中部	10	2107
近畿	2	90
中国	14	1509
四国	1	16
九州	2	105
合計	51	7746
1大会平均		151

## (2) モトクロス

### ① 全日本選手権

	開催日	場所	観客数	台数	国際B級		国際A級		レディ ス	チャイ ルト*	J85	他
					IB2	Open	IA-1	IA-2				
第1戦	4/12-13	名阪	14157	411	108	106	31	51	52	27	36	
第2戦	4/26-27	オフレ	16000	455	90	87	29	51	57	37	28	76
第3戦	5/10-11	SUGO	8600	341	93	94	32	52	53	17		
第4戦	5/24-25	G弘楽園	11000	388	79	79	29	47	47	32	43	32
第5戦	6/7-8	HSR	11000	317	75	74	32	47	39	21	29	
第6戦	7/5-6	わっさむ	8600	266	70	68	30	43	32	7	16	
第7戦	7-19-20	藤沢	8000	325	92	93	31	47	50	12		
第8戦	9/6-7	名阪	12122	431	106	103	31	54	55	32	50	
第9戦	10/11-12	G弘楽園	10500	338	85	81	30	49	51	42		
第10戦	10/25-26	SUGO	9700	419	106	105	36	59	60	26	27	
		合計	109679	3691	904	890	311	500	496	253	229	108
		平均	10968	369	90	89	31	50	50	25	33	54
		対比	90%	96%	99%	97%	91%	93%	100%	92%	102%	108%

モトクロス全国大会:8月2・3日中国地区のグリーンパーク弘楽園にて開催し、254台が参加した。

### ② 地方競技会

	大会数	総参加台 数	平均台数	前年対比
地方選手権	67	10524	164	96%
県大会	15	471	31	103%
Total	82	10995	139	97%

## (3) トライアル

### ① 世界選手権

格式	開催日	大会名	観客数	
			07年	08年
世界選手権	5/30~6/1	トライアル世界選手権ウイター日本GP	16,000	15,000

### ② 全日本選手権

	開催日	場所	観客数	台数	IB	IA	IA-S	その他
第1戦	3月9日	関東	2,300	119	69	38	11	1
第2戦	4月6日	九州	2,100	79	43	25	11	
第3戦	5月25日	近畿	1212	140	87	42	11	
第4戦	8月3日	北海道	920	55	25	19	11	
第5戦	9月7日	中国	2500	118	62	31	11	14
第6戦	10月12日	中部	2,000	129	70	46	12	1
第7戦	10月26日	東北	1100	91	46	32	12	1
		合計	12132	731	402	233	79	17
		1大会平均	1733	104	57	33	11	4
		前年対比	92%	101%	106%	94%	138%	102%

### ③ 地方選手権

地方選手権	66	4390	67	91%
県大会	34	1006	30	88%
Total	100	5396	54	90%

(4) スノーモビル

年度	開催地	開催日	観客数	総台数	B	SC	A	J	他
第1戦	湯沢	1月27日	6,000	199	52	20	64	16	83
第2戦	長野	2月3日	3,000	115	46	19	57	12	12
第3戦	わっさむ	2月10日	2,300	157	66	19	81	10	10
第4戦	士別	2月17日	1,200	159	67	19	86	6	6
第5戦	青森	2月24日	3,000	155	60	18	78	11	17
第6戦	美瑛	3月2日	1,500	176	75	19	93	8	8
08 年間合計(6戦)			17,000	961	131	114	459	63	136
08 1大会平均(6戦)			2833	160	22	19	77	11	23

(5) ドラッグレース

	開催日	場所	台数	全日本	地方		併催	
				PB	SBEX	SB	SD	SSB
第1戦	5月6日	鈴鹿	28	12	4	4	2	6
第2戦	6月8日	もてぎ	34	12	4	9	3	6
第3戦	8月17日	もてぎ	31	11	6	6	3	5
合計			103	35	14	19	8	17
1大会平均			34	12	5	6	3	6
前年対比			73%	102%	58%	58%	30%	45%

(6) スーパーモタード

①moto1 オールスターズ

	開催日	場所	台数	moto 1	moto 2	Unlimited	併催
第1戦	3月30日	近畿	79	18	33	6	22
第2戦	4月20日	中部	99	22	40	7	30
第3戦	6月1日	中国	59	18	32	9	
第4戦	6月29日	東北	48	18	25	5	
第5戦	8月3日	東北	55	19	22	6	8
第6戦	9月6日	中部	88	19	26	10	33
第7戦	10月5日	九州	36	15	15	6	
第8戦	10月26日	関東	74	18	27	7	22
合計			538	147	220	56	115
平均			67	18	28	7	14
対比			99%	60%	112%	117%	

②MOTO1 エア (地方選手権) を下記7エアで開催。

エリア	大会数	総台数	平均
東北エリア	5	139	28
関東エリア	5	294	59
中部エリア	4	250	63
近畿エリア	6	190	32
中国エリア	6	273	46
九州エリア	4	96	24
沖縄エリア	6	139	23
	36	1387	39

(7) エンデューロ

	開催日	場所	台数	全日本	その他
第1戦	3月29日	東北	159	39	120
第2戦	4月20日	九州	60	24	36
第3戦	10月5日	北海道	90	24	66
合計			309	87	222
1大会平均			103	29	74
前年対比			95%	103%	92%

4) 代表選手派遣事業

(1) モトクロス・オブ・ネーションズ (国別対抗世界選手権)

開催日：9月27日/28日 開催地：イギリスドニントンパーク

参加国：32カ国 観客数：60,000名

日本代表チーム(小島庸平/北居良樹/新井宏彰) 結果：17位

(2) トライアル・デ・ナシオン (国別対抗世界選手権)

開催日：9月27日/9月28日 開催地：アンドラ

代表チーム：(藤波貴久/黒山健一/小川友幸/野崎史高) 結果2位(昨年2位)

(3) インドア・トライアル・デ・ナシオン

開催日：11月29日 開催国：スペイン

代表チーム：(藤波貴久/小川友幸/小川毅士) 結果(2位)

(4) アジア・ネーションズ・オブ・ロードレーシング (アジア国別対抗戦)

	開催日	開催国	参加国	順位	代表選手	
第1戦	8月23・24日	日本(SUGO)	7カ国	2位	中木亮輔	丸山隼一
第2戦	9月7日	マカオ	9カ国	1位	上江洲克次	丸山隼一
第3戦	10月12日	中国	9カ国	3位	中木亮輔	丸山隼一
第4戦	11月2日	インドネシア	8カ国	3位	中木亮輔	丸山隼一

※シリーズランキングは2位

(5) ISDE (国際6日間エンデューロ)

開催日：9月1日～8日 開催国：ギリシャ 参加26カ国 結果：19位

代表チーム：博田巖・内山裕太郎・内山泰臣・水上泰祐・藤田貴敏

ワリングトロフィー(敢闘賞)受賞

5) 全日本選手権ランキング表彰式典

全日本ランキング表彰式典を平成20年12月20日(土)に東京・永田町の砂防会館にて開催した。

## II. 補助金事業

---

J K A (旧・日本小型自動車振興会) 補助金事業：「国内競技規則書」

## III. モーターサイクルスポーツの普及振興

---

### 1) 普及強化事業

#### ① MF J ロードレースアカデミー in Motegi

3期目を迎える標記アカデミーを下記のように開催した。

- ・ 主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・ 会場：栃木県・ツインリンクもてぎ
- ・ 対象：12歳～15歳 受講者：7名 期間：2008年4月～10月
- ・ 車両：CBR150 NSR-mini 受講料：30万円 ・ 協賛企業：13社

#### ② MF J トライアルアカデミー

2期目を迎える標記アカデミーを下記のように開催した。

- ・ 主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・ 会場：茨城県・真壁トライアルランド
- ・ 対象：ジュニア(9歳～15歳)・女性 受講者：14名(ジュニア6名・女性8名)
- ・ 期間：2008年4月～11月 車両：持ち込み 受講料：11万円

#### ③ MF J レディースロードレース

アカデミー用のCBR150をレンタルし、レースを3回、講習会/練習会を2回開催し普及に努めた。

- ・ 主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・ 第1回：4月12日(日)筑波サーキット 参加申請20名 出場18名(抽選)
- ・ 第2回：8月2日(土)筑波サーキット 参加申請24名 出場20名(抽選+持込3台)
- ・ 第3回：9月18日(日)ツインリンクもてぎ 前2大会経験者 出場18台<優先順>

#### ④ アジア国別対抗ロードレース

昨年筑波からSUGOに会場を移し下記のように開催した。

開催月日：2008年8月23日(土)24日(日)

開催場所：スポーツランドSUGO クラス：CBR150ワンメイク

主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 協力：スポーツランドSUGO

参加国：タイ・インドネシア・フィリピン・中国・マカオ・台湾・日本<7カ国>

## ⑤ モトクロスライディングスクール

モトクロス選手会と協力し、国際A級ライダーの講習によるスクールを下記2回開催

- ・ 第1回：8月2日（土）場所：グリーンパーク弘楽園 対象：モトクロス全国大会参加者
- ・ 第2回；10月4日（土）場所 スポーランド SUGO 対象；東北選手権参加者

## ⑤ 三宅島キッズバイクスクール

- ・ 主催：NPO三宅島モータースポーツ振興会
- ・ 協力：TEスポーツ、MFJ、三宅村 会場：東京都三宅島
- ・ 対象：小学3年生～6年生（本州参加7名・島内参加9名） 期間：8月26～29日
- ・ 内容：50cc車を使用したライディングスクールならびに本州と島内の小学生の交流。

## 2) 安全・環境・健康に関する活動

### ①レスキュー講習会

モータースポーツライフセービング機構（LSO）のセミナーを実施し、レスキュー体制の強化を図った。

6月15日	四国	17名
7月6日	中国	20名
10月26日	北海道	7名
09年3月14・15日	東北	48名

### ②インストラクター養成セミナー

ライダー養成にあたる人材育成を目的に、レース専門分野ならびに、大学の講師によるスポーツコーチング、熱中症予防に関する講義を行い資格認定した。

- ・ 6月14日 東京・日本印刷会館研修室 受講者29名（内新規16名）昨年39名

### ③ドーピングコントロール

ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	8月24日	SUGO	MFJ事業	3
				文科省委託	3
モトクロス	全日本	7月20日	東北・藤沢	MFJ事業	3
トライアル	全日本	9月7日	岡山	MFJ事業	3

### ④サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時に主に安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

- ⑤各支部にオフィシャル用ヘルメットを配備し全日本モトクロス全戦でコース役員が着用した。
- ⑥ 各支部へAED（除細動機）を提供し、競技会時に医務室に配備した。
- ⑦ モトクロス・トライアル主催支部へコーステープ・立入禁止表示サインを補助した。

- ⑧ スポーツ主催者にピクトクレーション・立入禁止表示付ネットを補助した。
- ⑨ エアバッグベストを MFJ ロードレースアカデミーの受講者に貸出し、有効性を確認した。・9 回作動、負傷なし。

### 3) 広報活動

- ① MFJ の広報機関誌である月刊「ライディング」及び別冊 MFJ 国内競技規則書を年間累計 **197,450 冊** (昨年 200,550 冊) 発行。機関誌とホームページの情報内容の仕分けを行い、速報性に限界のある機関誌の回数を減らし年間 8 回とした。ライセンス会員、特別会員、賛助会員、ネットワークショップ及び報道機関などに広く配布し、MFJ 活動の広報に努めた。
- ② MFJ オフィシャルホームページは本年 4 月 1 日より 11 月末日まで **730,160 件/月** 平均 **91,270 件** (昨年 725,936 件/月平均 90,742 件) のアクセスを得た。  
(一般的には 1 万件以上はアクセスが多いページの基準とされている。)   
CS 放送ロックオンとリンクし、全日本選手権ロードレースの動画配信を行った。  
また、同 3 種目の全日本選手権の結果速報・レポート・写真を掲載し内容充実と速報性の向上を行った。
- ③ 主にネットワークショップに向けてのイベント情報を FAX 通信にて毎月 1 回 (15 日発行) 配信した。年間 12 回配信
- ④ ライセンス会員募集のために二輪専門雑誌の広告掲載(10 媒体・42 回予定)並びに募集パンフレットを作成し、配布した。
- ⑤ ネットワークショップを中心に掲出するポスターカレンダー (支部ごとの地域イベントを中心とした内容) を作成し、広く配布予定。
- ⑥ 全日本ロードレース選手権大会のプロモーション活動を行う MFJ プロモーション委員会において、シリーズ告知等広報宣伝活動を展開した。
  - ・ TV は CS 放送スポーツ専門チャンネル Gaora にて番組名『モトバトル』で全日本ロードレース並びにモトクロス全戦 2 時間番組を放映。また地上波で『モトバトル』30 分ゲスト番組(ロードレースのみ)を関東 4 局 (埼玉/神奈川/千葉/栃木) を中心に近畿 1 局 (大阪) 中部 1 局 (三重) 九州 4 局 (熊本/鹿児島/大分/福岡) 東北 1 局 (仙台) 全国ローカル 11 局で 51 回放映。
  - ・ 専用ホームページ Superbike.jp にて各大会の告知を中心に情報発信した。

- ・その他、ネットワークショップ向けの観戦ガイドブック（2回）の配布や割引企画の実施、来場者向けのサービス活動・ファンクラブの運営等を展開した。

⑥東京/大阪で開催されたモーターサイクルショーにて MFJ ブースを展開し、競技会の広報宣伝や会員募集に努めた。

- ・ 第 25 回大阪モーターサイクルショー

日時：2009 年 3 月 20 日～22 日 場所：インテックス大阪

入場者数：40,624 名（3 日間合計） 昨年 40,134 名

- ・ 第 36 回東京モーターサイクルショー

日時：2009 年 3 月 27 日～3 月 29 日 場所：東京ビックサイト

入場者数：99,739 名（3 日間合計） 昨年 95,168 名

#### IV. 地方組織

##### 1. 支部長・事務局長会議

支部との情報共有の為、支部長/事務局長会議を定期的に開催した。

##### 2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟推進を全国 400 店舗目標に支部ごとに数値目標を立てて加入活動を行ったが、278 店舗（昨年 304 店）と大幅に減少した。

##### 3. 支部ごとの活動状況は以下の通り

支部	会員数					競技会			全日本選手権						Nショップ	HP	表彰式
	ライセンス		エンジョイ	合計		公認	承認	計	RD	MX	TR	SN	SM	ED			
	枚数	人数		枚数	人数												
北海道支部	1363	903	242	1605	1145	40	7	47	0	1	1	3	0	1	11	○	最終戦時
東北支部	2432	1546	678	3110	2224	62	34	96	1	3	1	1	2	1	24	○	最終戦時
関東支部	10858	7278	2706	13564	9984	126	33	159	2	1	1	2	2	0	97	○	○
中部支部	5013	3496	734	5747	4230	59	30	89	1	0	1	0	1	0	42	○	○
近畿支部	4973	3406	857	5830	4263	45	23	68	0	2	1	0	1	0	50	○	○
中国支部	1706	1209	558	2246	1767	72	29	101	1	2	1	0	1	0	15	○	○
四国支部	767	543	112	879	655	21	3	24	0	0	0	0	0	0	12	○	最終戦時
九州支部	2085	1452	294	2379	1746	54	5	59	1	1	1	0	1	1	27	○	○
	29197	19833	6181	35360	26014	479	164	643	6	10	7	6	8	3	278		

## V. 国際交流

---

世界における MFJ の役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ 並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクルスポーツの活性化を推進した。

- 1) 7月 FIM 幹部及びスーパークロスプロモーターと日本マニユファクチャーとの合同会議を開催した。
- 2) 7月 世界選手権ロードレースモト GP 開催のための FIM 査察に立会いとして事務局員を派遣した。
- 3) 8月 アジア国別対抗ロードレース第 1 戦をスポーツランド SUGO における全日本選手権に併催した。
- 4) 9月 アジア国別対抗ロードレース第 2 戦マカオ大会に代表チームを派遣。
- 5) 9月 ギリシャ・セレスにて開催された ISDE (インターナショナル・シックスデイズ・エンデューロ) への代表チームを承認した。
- 6) 9月 イギリス・ドニントンパークにて開催されたモトクロス・オブ・ネーションズに代表チームを派遣。
- 7) 9月 アンドラにて開催されたトライアル・デ・ナシオンに代表チーム(男性、女性)を派遣。
- 8) 10月 アジア国別対抗ロードレース第 3 戦中国大会に代表チームを派遣。
- 9) 10月 FIM 南アフリカ総会に事務局員を派遣した。
- 10) 11月 アジア国別対抗ロードレース第 4 戦インドネシア大会に代表チームを派遣。
- 11) 11月 AMA 幹部のメーカーへの表敬訪問に随行した。
- 12) 11月 スペインで開催のインドア・トライアル・デ・ナシオンに代表チーム出場
- 13) 12月 中国にて開催されるアジアロードレース選手権最終戦視察に事務局員を派遣。
- 13) 2009 年 1 月 UAM (アジア協会) 総会 (香港) に事務局員を派遣予定。
- 14) 2009 年 1 月 FIM 車両インスペクション立会いとして事務局員を派遣予定。
- 15) 2009 年 1 月 トライアル世界選手権主催者ミーティングに事務局員を派遣予定。
- 16) 2009 年 2 月 FIM ジュネーブ会議に杉本ロードレース委員長及び事務局員を派遣。

## VI. スポーツ傷害基金報告

平成20年4月1日～9月30日の中間報告

種目	掛金口数	支払い件数	死亡	後遺症
ロードレース	8,713	74	1	2
ミニロード	1,422	0	0	0
ドラッグレース	106	0	0	0
ミニバイク	7,740	39	1	0
スーパーモタード	1,241	9	0	0
スーパーモタード小排気量	335	1	0	0
モトクロス	6,357	83	0	0
ミニモトクロス	4,943	35	0	0
トライアル	8,724	25	0	2
エンデューロ	3,256	26	1	1
ダートトラック	20	0	0	0
スノーモビル	595	7	0	0
RDスクール・走行会	500	2	0	0
走行会	115	0	0	0
海外共済会	42	0	0	0
ピットクルー	9,344	0	0	0
事前準備		1		
	53,453	303	3	5

## VII. 諸会議の開催状況

委員会	2008年										2009年			回数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
理事会		20						12	17			18	4	
評議員会		20							17			18	3	
運営・財務委員会		15		31		17			11		2	11	6	
支部長・事務局長								27					1	
スポーツ傷害基金	24							20					2	
中央審査委員会													0	
規律裁定委員会		19				19							2	
環境整備委員会													0	
中央スポーツ委員会			4	17				18					3	
プロモーション委員会	23					9	9			21			4	
技術委員会	10	22	24	15 (作)		10	15	14		28		3	9	
ロードレース委員会				3		11(作)	14(作)	13			6(作)	2(作)	6	
モトクロス委員会				11				5					2	
トライアル委員会			10				29						2	
スノーモビル委員会		16											1	
ドラッグレース委員会				14				21					2	
スーパーモタード部会				4				11					2	
エンデューロ部会								4					1	
タイヤ部会													0	
競技用装備部会	16										10		2	
回数	4	6	3	7	0	5	4	10	3	2	3	5	52	

以上